

第4回絆づくりこうなん実行委員会 会議要旨

日時：平成23年10月25日（火） 午後1時半～3時半

場所：市民・協働ステーション（情報センター2階）大会議室

議題：(1) 企画案について
(2) その他

■第3回の検討結果について

◆前回、第3回委員会での検討結果について、再度参加委員全員で確認しました。

- ・前回の会議では、意見がしっかり聞いてもらえない雰囲気だった。テーマや事業手法も決まらないのに「会場を先に決める」の一点張りで、なぜ会場なのか理由の説明がない。私は、事業が決まってからそこでやると会場が決まると思っているが、意見を言おうとしても聞いてもらえなかった。
- ・市民活動団体の活動拠点であること、開催時期が2月の寒い時期になること、予算に限りがあることなどを考えると、今年度は情報センターで開催するのがベストだろうという結論になった。
- ・「市民活動の活動拠点であるから」といった理由を私は把握していなかった。予算がかからない屋内の施設なら、公民館などもある。今回は情報センターで開催するというシナリオが決まっていたのではないか。それならばなぜはじめからそのように広報しないのか。
- ・行政としては、情報センターで開催してもらえたら嬉しい思いはあるが、今回、場所の決まりは設けていない。
- ・交通手段を考えても、公民館では不便に感じる人が多いと思う。
- ・第1回から話し合いを行う中で、情報センターで行おうといった結論に至ったのではないか。当委員会が中間支援組織として成長していくといいなといった中で、中間支援を行う場であるべき「市民・協働ステーション」を会場とするのが、最も目的に沿った事業が実施できるとの結論だった。
- ・例えば団体ごとにブースを作るとして、30～50の団体が参加するとなったら、情報センターでは場所が足りない。何を実施したいか、NPO・ボランティアの皆さんの意見を聞く必要がある。その結果で、実施する事業も場所も決まる。
- ・場所が足りないのであれば、わかった時点で第一、第二会場を考えていけばよいと思う。人の意見を聞くことはもちろん大切だが、今年度中にイベントを実施するといった目的があり時間に制限がある中で、自分達でできることを実施するべきだと思う。アンケートをするにも自分達の力を考えて行わなければならない。千差万別の意見を取りまとめるのは容易なことではない。自分達の力を知らないとパンクする。
- ・協働・市民活動推進の会議では、聞く耳を持つ事が大切だ。「そんな事はできない。」といった意見を聞いた時は悲しく思った。議論ができない会議ならやらない方がよい。また、前回の会議では最後のまとめはなく、まだ最終確認に至っていない。

- ・提出されている企画案を見ると、委員全員が同じ方向を見ているなどといった思いである。今の話し合いは「会議の進め方」についての意見、注意事項だと思う。これらは今後の会議の教訓として、今日をスタートに話し合いを進めていってはどうか。
- ・「市民・協働ステーション」を活性化させたいと、私も以前から思っていた。
- ・今回のイベントを通して感じた事などをまとめて、今後提案、提言といった形で、ステーションのあり方を行政に伝えてもよいのではないか。

※NPO・ボランティア同士の出会い、絆づくりの場の開催について決定事項

開催日：2月11日（土） 10時～15時

会場：地域情報センター

(1) 企画案について

■持ち寄った企画案をどのようにまとめるか。

- ・今回の企画案に加えて、前回の会議でアイデアがたくさん出ている。それをまとめて整理するのがよいのではないか。
何よりもまずはじめに、参加者を把握することが必要だと思う。なるべく早い時期に参加要請のアンケートを行う必要がある。参加する顔ぶれがわかれば、企画ができてくる。
- ・アンケートは実際に来てくれた来場者にするものだと思う。まずはじめに「対象」を決めたい。
- ・アンケートというのは「PRの参加要請」のアンケートである。詳細なアンケートを指すものではない。
- ・市に登録のあるNPO・ボランティア団体約130団体を対象に参加要請のアンケートを行ってはどうか。
- ・先日、70団体にあてて環境イベントの案内を出したが、結局、1者しか参加がなかった。郵送はあまり効果が見込めない。私たち委員の口コミなど、人間的なつながりを持って案内する必要がある。
また、登録団体だけでは結局、NPO・ボランティアに意欲的な市民しか集まらない。一般市民を巻き込むために、登録団体以外のなるべく多くの市民活動団体に声をかける必要がある。
- ・自分達のやるべき事、やれる事を把握する必要がある。今回の企画の目的は、一般市民より「NPO・ボランティア団体同士の交流」であることを考えると、登録団体を対象に参加を要請するのがよいと思う。
- ・登録団体に参加要請を行って、参加を表明した団体にはイラストボードを作ってもらってはどうか。イラストボードは、団体ごとにまちまちでは混沌として伝わらないので、項目を指定するなどして、共通項をもったものにしたい。
参加者には名札を配ってはどうか。福祉、環境など活動分野ごとに色を変えた名札をしてもらい興味のある分野が一目で伝わるようにすると、声をかけやすい仲間になりやすいと思う。
また、ボード以外に団体のプレゼンテーションの時間を設けるとよいと思う。プレゼンする順番は、活動分野ごとになるべくまとめると、プレゼンの前後に話す時間ができるので仲間がしやすい。
仲間が生まれやすい環境を考えた企画にしたい。

- ・自分はパークフィットネスをやりたいと思っている。
私は文章を作るのが苦手だが、活動を続けるうちに苦手分野を手伝ってくれる仲間ができ、パークフィットネスの活動が少しずつ軌道にのりはじめてきた。
皆それぞれの得意分野を活かしていけるとよいと思う。
- ・「パークフィットネス」を知らない人が多いと思うので、当日は活動を PR して、仲間・協力者を募ってもらおうと思う。

※企画案、意見の共通項をまとめて確認した結果、主な企画の内容が決まりました。

- ・交流会
- ・団体の PR（ブース発表、パネル展示、チラシ設置、プレゼンテーション）

■団体 PR への参加を要請する対象、方法は？

- ・登録団体に DM を郵送する方法がよいと思う。11 月中に郵送し、12 月中旬までに回答を求めるスケジュールでどうか。
- ・私は、社会福祉協議会や高齢者生きがい課が関係する包括支援センターの高齢者の生きがいづくりのボランティアに関わって活動している。絆づくり委員会の事を仲間に話したら、ぜひ参加したいとの話だった。会議の経過の話も楽しみにしてくれている。NPO・ボランティアの登録団体ではないが、今度の企画に参加できると嬉しい。
- ・登録団体への呼びかけだけでは一般市民は来ない。関心がない人に活動を伝えなければ意味がないと思う。一般市民に来てもらうには、最も身近な市民活動団体である区・町内会に声をかけ、地域の課題、悩みを抽出する必要がある。
- ・今回の企画の目的は出会い、仲間づくりであり、地域課題を解決するまでは考えていない。団体同士で普段の活動の悩みを話し、共感するまではあると思うが、解決まで導き出すための企画ではない。
- ・地域協働課が事務局の「市民協働・市民活動推進協議会」で社協の職員と話す機会があり、今回の委員会について紹介したところ、社協として協力できることがあれば関わっていききたいとの意見があった。社協のボランティアセンターとの連携ができれば「協働」によるまちづくりが少しずつ広がっていくと思う。
- ・基本的には NPO・ボランティア団体へ DM を郵送することになると思うが、社協などに関わりのある団体向けには広報こうなんと呼びかけてはどうか。
- ・今から広報こうなんに掲載するとなると、早く「1 月号」になる。企画を考えるのには時間が足りないのではないか。
- ・地域で回覧してはどうか。広報は沢山の情報で溢れていて、くまなく読まない一つの記事にたどり着けない。回覧は一通り必ず見るので、むしろ市民の目に届きやすいと思う。
- ・回覧物は「全市民対象」との考え方がある。「NPO・ボランティア団体の絆づくり」といった今回の企画の目的を考えると、回覧の対象にすべきか疑問などところがある。
また、効果を考えたときに、今回の企画を周知する媒体として果たして効率的なのだろうか。
- ・回覧は、家族の誰か一人にしか届かない。
- ・地域の評議委員会で、区長から班長などの役員に周知してもらってはどうか。

- ・評議委員会は、実施している地域としていない地域があるし、もしその手段をとったとしても、班長までは届いても市民に情報は届かないのではないか。
- ・PRに参加する団体に、補助金などの特典を付けるべきだと思う。DMを郵送したとしても、興味を示すのはその内2割だと思う。

※団体 PR への参加を要請する対象、方法についての決定事項

- ・市に登録のある NPO・ボランティア団体に DM を発送
- ・絆づくり実行委員の関係者へのロコミ
- ・登録の有無は問わず、1月号広報で広く周知

■次回に向けて

- ・次回は、「登録団体に郵送する DM」と「広報こうなんの記事」の内容を協議・決定し、交流会・団体 PR について具体化する。
- ・DM と記事の原案を事務局で用意し、たたき台として話し合ってください。
- ・次回の日程は、11月8日（火）午後1時半～
- ・次回までに「地域情報センター」で実施できる交流会、団体 PR の案を検討しておく。
(次回欠席の場合は事前に事務局に知らせる。)